

六郷地区 市政懇談会

日時 平成 19年 8月 2日 19時から

会場 菊川文化会館アエル小ホール

参加者数 48人

懇談 (質疑応答)

青葉台 男性

いくつかの提案があります。長くなるかもしれませんがお願いします。これについては回答とかそういうものではなく、要望ですのでお願いします。

まず一番に石綿についてですが、旧菊川町だけだと思いますが、ゴミ集積所の屋根に石綿スレートを使っているところが多いと思います。公園に近いところで設置しているところも多いですけど、なかにはトタン板に変えているところもあります。私は青葉台ですけど、近くに行って指で触ってみたところ、かなり劣化しており、爪で剥れる位になっています。これから劣化どんどん進みますので、もし被害が出るとしますと、子どもの世代に出るのではないかと心配しています。たいした費用ではないので本来ならば自治会負担になるかと思いますが、市の方で将来に不安を残さないようなかっこうにしたいと思っています。併せて青葉台にトカイのガスステーションがありますが、ここもどうも石綿スレートを使っておりまして、一部補修しておりますが、これからますます劣化していきますので、2月、3月は風も強くて、飛ぶ心配が無いということもおもいますので、よろしくお願いします。

二つ目ですが駅前の区画整理事業が進んでおりまして、その横断歩道の設置状況を見ますと、横断歩道が少ない。道路交通法の38条では歩行者、車椅子も含みますが、歩行者と自転車がいる場合は、止まりなさいということになっています。それから同じく、道路交通法の38条の2では、横断歩道が無いところでは、歩行者の妨げをしてはならないとなっています。横断歩道があると、歩行者、車椅子、自転車の法的な保護が一層受けられるわけです。そういうことで駅前のところを見ると、横断歩道がないところもあるし、十字路でも1ヶ所しかないところもあります。これは警察の担当だと思いますので、市の方から警察に働きかけていただきたいと思っています。

三番目ですけども、駅前の区画整理事業の歩道の整備状況ですけども、あれを見ますと最近やった特殊U字溝をつかっているところでは、歩道への乗り入れの段差がほぼゼロになっています。特殊U字溝を使っていないところでは、3センチ位ついておりまして、歩行者は良いと思いますが、これからの高齢化社会を迎えて、車椅子の方、それから自転車ではやっぱり段差がゼロの方が通行しやすいということで、先程浜岡への道路新設の話がありましたが、あそこの歩道の交差点のところ

は段差が付いておりまして、高校生が通るのを見ていると、両脇にU字溝がありまして、その部分だけは段差がない、そこを歩いていく状況があります。国・県の基準が、もしかしたらあるのかもしれませんが。もし有るのでしたら、やっぱりそれは改善するように要望して、なんとか菊川市が車椅子の皆さんに注目されるような市街になればと思います。これは全部改修しろということではなく、これからやれるところは、そんな格好で対応をお願いしたいと思います。

四番目ですが、CO₂の削減なんですけど、市役所行った時に、トイレに消灯確認の張り札がありました。あれを見て市もCO₂の削減に取り組んでいるんだと思いました。先日、安倍川に新しくできました静岡大橋を夜渡ったところ、道路の半分だけ外灯が点いておりまして、多分半分は消しているんだろうと思うんですけども、これからCO₂の削減は、重要課題だと思います。そういうことで当市でも先程取り組んでいるんだろうと話しましたが、公園の外灯が夕方になると点きます。5時半になると子供の皆さんは、帰宅時間ですと案内が流れ、夕方になると公園に外灯が点いています。雨が降っても点いています。本当に公園に外灯が必要かどうか。これは地区の役員さんとも相談しながら、出来れば、夜公園は遊ぶ必要はないのではないかと。たまに遊んでいるのを見ると、高校生がサッカーボールを蹴っている位で、夏の暑い夜は子供が花火とかも考えられますが、現実的には夏は蚊が多く、夜はじっとしてられないと思います。そういうことも考えれば、公園に外灯は必要ないと思います。その辺も検討していただいたらと思います。

五番目なんですけど、当市を東名高速道路が横断しています。東名高速の横断している箇所の歩道の状況を見ますと、完全に前後の道路と同じような歩道が設置されているところは皆無です。無いところも大部分です。そういうことで公団も民営化されておりますけれど、まだ国の資本も入っていると思いますので、これも菊川市が率先して、東名高速道路さんに、歩道の設置をなんとか、費用を全部出せば、ちょっと無理でしょうけども、設置するときには菊川市もかなり協力していると思いますので、なんとか負担を少しでも出してもらって、歩道の整備をお願いしたいと思います。

広報きぐわ 7月号の水道の水質検査の結果の紹介記事がありました。水質検査50項目の検査をしておりましたが、そのうち10項目ほどに数字にちょっと差があって、あとの40項目は全く同じ数字だった。そういうことでかなり見難かったです。こういう広報には、もうちょっと何かひと工夫していただいて、見やすいようなことをお願いしたいと思います。それから市民は自分の飲む水が本当に安全な水なのか、きれいな水なのか、興味があると思います。検査結果を見れば大井川の水はかなりきれいだと思います。ただ私、青葉台ですが大雨の時と降雨がすくなくて、夏の晴天が続く日は、ちょっと水質が悪くなると思います。広報に載りませんでしたけど、水質検査をされている場所の給水の地区ですが、それができれば分るような格好で、水道課の

方に準備していただければ、また見に行きたいと思います。それから市内の水源が20%ということで載っていましたが、私の極論なんですが水道料金が今現在も高いと思っておりますが、20%位であれば高くなっても100%大井川の水を飲みたいというのが、私の極論です。

中越沖地震で東電原発で2053でしたか、加速度で2,000ガルをオーバーしたということで、これについては未知の世界に入ったということだと思んですけど、浜岡原発は1,000ガルで補強工事を行ったということを伺っておるんですけど、本当に1,000ガルで、東電が2,000ガル出たということで、本当に大丈夫なのか。その辺の説明を中電からは是非引き出してもらいたいと思います。事故があった場合は、チェルノブイニの事故なんかを見ますと、多分あのような事故がおこれば、この菊川市全域は人が住めなくなる。そういうことで是非中電の詳しい説明を、中電も説明会みたいのをやっているんですけど、なかなか本当の詳しい話はちょっと聞けないです。なかなか難しい話と思うんで、その辺も是非中電から聞き出してもらいたいと思います。静岡新聞に、前に地震は免責だというようなことがのっていたわけですね。東海地震が起こる起こると言われて、まだ起きないですけど、多分起こると思います。その場合に免責だと話載っていましたが、中電に説明会で伺ったんです。そして、特別法があるということで、特別法の中身を私はしらべていませんが、そのへんも含めて、このあたりで事故があった時の補償はどうなるか、中電から説明してもらいたいような格好で申し入れをお願いします。

交差点に歩道がついている場所の電柱が、車道側に設置してあります。脇道から出て行くと電柱が邪魔になり見通しが利かない。そういうところが多いと思います。その辺を何とか改善をお願いします。もっともっと住みやすいまちになりますようにご努力をお願いします。

司会（企画政策課長）

内容を検討しまして、お答えするものはお答えしてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。

青葉台 男性

菊川市の職員のマナー、おもてなし日本一ということをして市長さんうたわれているということですけど、そのへんの取り組みが今どのようになっているかお聞きしたいと思います。

市長

日本一のまちづくりを掲げておまして、その中で市の職員に対しまして、きちっと対応する、接遇するというなかで、指導をしております。当然いっただけでは出来るわけではありませぬので、庁舎内に接遇の委員会を設けてまして、そのなかで話をしながら具体的にどのようにするか取組んでおりますので、お気づきの点がありました

ら、ご意見をいただけたらと思っております。

青葉台 男性 (再質問)

私が総務課の方に行きまして、お話を聞いたところ昨年度その委員会ですか、接遇検討委員会というのがあって、それは昨年度は1回しか開催できなかったということでありまして、1回は流石に少なからう今年度はもっとやるんですかとお聞きしましたら、別にあった業務の適正化委員会みたいなものですか、それと2つを1つにしてやります。今年度は必ずやりますから、見守って下さいというお答えがあったわけですが、進捗が感じられない。具体的な一人ひとりの職員がどうかということ、いちいち取り上げる必要はありませんが、窓口へ出かけたときに、不安なことやら、問題があったり、菊川市はこれで大丈夫かというようなことがあった時に、大丈夫ですよと自信を持って答えていただける、そういうものが少ないのかと思っております。具体的に聞いておりますと、言い訳がましいといいますが、物事には事情があるということは、ある程度大人になって来ると分りますが、これはおかしいと意見としてあった場合に、そういう意見も有るんですね。そういうふうを受け止めていただいて、温かい心を持っていただきたい。金勘定みたいに予算が無いから出来ませんとか、財政が厳しいから削られるんですよとか、そういうことでなくて、何をどうしたらいいのか、具体的に言っているものを、鼻っから断るようなことは止めていただいて、個別に皆さんの声を聞いたなかで、それを集約するのが一番いいのではないかと。勿論それ以外の場もあると思いますが、この場で色々細かいことをああして下さい、こうして下さいとなっても、なかなか実現できなかつたりするので、やっぱり個別対応を充実させることが日本一のまちづくり、強いては市民参加がもっと広がっていくんじゃないかと思えます。窓口ということに併せて言いますと、電話を掛けた時に、1階の総合窓口の方は手馴れていると感じますが、各課につないだ時にどうかといいますが、分りませんとか、この担当は別ですから私は知りませんとか言うことが多くて、あと、市役所、何課でという時に名前をきちっと名乗っていただければ、こちらもこの方にお願ひしますとか、あの方にお願ひしますとか、指名ができるわけで、名前をなのらない、まず基本的な窓口にお客さんが来た時にどういうふうにするか、基本的な気持ちの面でという話と、電話を掛けた時にはちゃんと名前を名乗る、ファックスを送る時には、ファックスにちゃんと名前を書くという基本的なことから始めていただいて、委員会のなかで、接遇研修とかを検討されて、まず市民と市の職員、行政側とうまくコミュニケーションが出来る土台を作っていただきたい。それが行政に求められる責任ではないでしょうか。

市長

ご迷惑を掛けているところも有ろうかと思っておりますので、市役所にもどりまして、徹底するように指示をしてまいります。

青葉台 男性 (再質問)

市債の最新状況について、財政課の方をお願いしておりますので、18年度決算はまだ締めておりませんが、現状はどんなふうになっているのか、現在高がだいたいこの位で、こういうふうに関連している、又その要因を含めて簡単に説明下さい。

総務企画部長

市債借り入れの内容ですが、現在総額で190億5,100万円です。これは3月末の人口49,659人で割りますと、一人当たり38万3,650円ほどになっている状況です。

青葉台 男性 (再質問)

17年度でこれが207億4千万円というが出ております。これは全市町を見ていったときに、財政力指数であるとか、指数化がされておまして菊川市がどうかと言うと、実質公債比率が18.8%となりましたよということで、これは制限を受けるエリアゾーンになってきているので、皆さん大変ではないかと言うことで心配されているわけですけど、今後の見通しを見ますと200億円をちょっと超える位のもので、平成21年位に出てくる見込みが立っているようですが、借金が増えるということは、公共事業体にとって、決して悪いことばかりではないかもしれませんが、例えば病院事業会計、特別会計の地方債ですけど、83億1千万円ということで赤字の積み増しも別にあるよということで、将来回ってくる、そういう可能性もありますので、公債費というものをもう少し市民に対して説明する機会が必要ではないでしょうか。

市長

当然借金は無い方が良いですが、借金をしなければならぬケースが出てきます。先程お話ししましたとおり、菊川市の財政状況は160億円前後で推移しておまして、一つは三位一体の改革の中で、国の制度が変ってきており、昔は補助事業でやってきた。最近では起債事業で借金して色々な事業をやりなさいという国あるいは県のスタンスによりまして、公債費というものは変わってきたことはお解りいただけると思います。しかし、公債費適正化計画を立てるという事は、これから近い将来、歳入が増えるということは厳しい、そういうなかで公債費を減らすための計画を立てて単年度の借金の額を15億円に抑えるとか、選択と集中で色々な事業を見直すとか出来ることから今やるということです。当然これから、スタートしたばかりですから、その計画をきちっとしまして、23年度には今の公債費比率を、また18%以下に持っていくという目標をたてて、より具体的に内部を詰めながらやっていきたいと思っております。その経過につきましては、市民の皆さんにも情報を公開してお話をしていきたいと思っております。

青葉台 男性 (再質問)

市債の額は大きいですが、そのなかを見ていくと、項目別では災害で復旧にかか

ったお金であるとか、国からのお手当が出なくて補填をしたというものもあるわけですし、方やどうですかと言いますと、都市計画に使ったお金、具体的にはまちづくりをしたお金であるとか、菊川運動公園みたいな公園をつくりましたよというのも市債が投与されているというふうに理解しています。負債があるから悪いというよりも借金までして作ったものが、なかなか活用されていないということが、問題ではないかと。野球場があったり、あそこを芝生にしましょうって、菊川公園ですか、ありますけれど、なかなか利用がない。この前は市内の高校の対抗戦みたいなものを企画してもらいましたが、公園ひとつとってもそうだろうし、このアエルを建てるにも債務をたててやっている訳でして、アエルの利用状況を見た時に、借金をしてまでして建てたものが、きちんと活用されるように、いわゆるそれが投資効果ということをおっしゃっていただくので、将来の利益を先取りして、そのかわり借金は残っているよというようなことでしたら、皆さんも納得いくんではないかと。ただ単純に減らしましょうも大事ですけども、こういうふうな借金は、こういうふうに使われている、若しくはこういう借金が役に立っていないければ、それを生かす方法を考えると、そういうことが求められると思います。それに合わせて申し上げますと下水道整備ですね。これは旧菊川町内ですね。加茂地区に処理場があって非常に広いエリアで下水道が提供され始められております。しかし青葉台地区においては県営団地の最初から下水道が整備されているわけですが、ご承知のとおり不明水が混じって、かなり老朽化がでてきているよということが露呈してきたりして、その修復にかなりの時間が掛かっていると、まだ本管接続に至っていないというところもあわせて、借金をして作ったのにもったいないなという気持ちがあるんですけども、下水道の最新の加入率はいかがか。事前をお願いしておりますので、現在の加入率と普及の状況についてお聞きいたします。

建設経済部長

下水につきましては、平成17年3月31日、2年前から家庭の方につながったということでありまして、8月2日現在の数字で話をいたしますと、供用開始対象軒数が1,250世帯、それに対しまして接続件数が751ということで、接続率は60.1%になっております。

青葉台 男性(再質問)

当初から青葉台のものをつないでおれば、二重に処理場を抱え込む、現状では二重に持っているということになるかと思いますが、そういうことも無かったのにと、非常に無駄と言いますか、そういうことは無駄と言ってもおかしくないかと考えております。加入の状況を見ますと6割と、かなり高いものと言いますか、あっちこっちで工事をやっておりますし、今までは逆に長い間、補助金を出して合併処理槽を推進してきたわけで、それを急に切り替えるというのも、なかなか難しいものがあるって、この6

割というふうに認識しますけれど、青葉台地区でざっと700世帯あるわけですし、それをちゃんと本管につなげば、対象も増えるだろうし、施設を維持するなかで、運転コストとか、そういうものも十分回収に近づくのではないかと思います。青葉台地区の下水道の接続の今後の目処はどのようになっていますか。

建設経済部長

今、お話がありましたように、青葉台地区はコミュニティプラントという形で、集合的な汚水処理をしているところであります。ここにつきましては、お話がありましたように、不明水と呼んでおりますが、コミュニティプラントのなかに、雨が降りますと大量の水が流れ込むという状況があります。これについて原因を究明いたしまして、ほぼ原因が特定できたという段階に至っております。したがって、全て100%不明水がなくなるということは考えられないわけですが、ある一定のレベルまで不明水がなくなるという段階で、つなぐというのが一番いいわけですが、そういったもいられないということもありますので、時期についていつとは明確に申し上げられませんが、今考えているのは年内には、つないでいきたいということになります。

青葉台 男性 (再質問)

総合計画についてですけども、ダイジェスト版が1月に全戸に配布されまして、私も何度も言っているんですけど、実際の総合計画の本を欲しいという人には、わけたらどうですかと言ったわけですけども、6月に各地区センターと図書館等に配架をしていただいて、皆さんだれでも自由に見られる状態になったということで、それに合わせまして、菊川市は他の市に比べ情報公開がおくれているのではないかという意見を申し上げまして、具体的には市政情報、予算書から議会の情報、その他色々な公開情報、そういったものを含めて市民が自由に見られるスペースが無いよねということで、図書館に先月ですか作っていただいたようで、みなさんもそちらに行ってみられる状況になったわけです。けれどもやはり、総合計画、何か良いものがあるんでしょけれども、皆さんに説明する、見たい人が見られるようにしておかないと、いけないのではないかと思います。そのなかで一点だけ申し上げますと、皆で目指す目標値というもの、各ページにございまして、色々な指標が載っているわけですが、諮問委員会ですか、審議会の答申を見ますと、そのまま読みますと「この目標値は、全体を見た時に、目標値が生きてくるものと、どうして出るの、こんなことで目標値があるのと思うものもあります。中身の無いものにならないように取組んでいただきたい。」とあります。色々な市の総合計画を見ますとちょっと、菊川市のもは現状認識の部分において、甘い部分があるんじゃないかと思います。現状認識をもう少しシビアに持って、具体的な行動計画がきちっと段階的に実現可能なもの、決して甘くなるということではなくて、自ら公共事業体がきちっとした目標を持って、高い目標と意思を持って進んでいく道標になるようなものを期待しています。これについては質問と

いうことではありません。

一点最後に質問いたします。4月でしょうか、小笠の堂山新田地区でしょうか、ファインケムという化学企業がトレンを敷地内に保管しておったものが何らかの原因で、地域排水に流れ出て、それが牛淵川に流れたよという事故がありまして、その件に関しまして、市の環境課に2、3回聞きに行ったわけですが、あなたは青葉台地区の方ですから、小笠のことは関係ないでしょと言われてしまったんですけども、もう少しそのところを、こういう状況で、市としてはこういうふうに対応したと、今後どういうふうになっていくということを、説明をお願いします。

福祉環境部長

ファインケムの関係につきましては、トレンが流れたということで、貯蔵場所のところにタンクがありまして、タンクの中のものは全部抜いて、その資材置場に置いたわけですが、若干抜けきらないトレンがあった。原因はわかりませんが、何らかの形で開け口が開いて流れ出た。なぜ開いたかはまだはっきりしたことは分っていません。そのトレンが流れ出て水路を渡って、川に出たという状況であります。この対策につきましては、資材置場のところの土壌改良も実施しましたし、魚が若干浮きましたが、その魚の検査も行いまして、そういう中から純度の高いトレンだというのが分ってきております。併せて消防署の立ち入り検査も実施しております。これについては化学工場の方も全て対応を取ってきております。もう一点は地元への説明であります。地元の皆様方も対策委員会というものを作っておりまして、そのなかで、今のような状況を市と同じ情報を共有しながら、企業への要望あるいは改善指導、そういったものを行ってきたところであります。

下本所 男性

通学路の件でお聞きしたいと思います。下本所の六小の通学路の件ですが、下本所の公民館付近、木惜神社というのがありまして切通しが大変危険なところです。その危険な箇所の近所に住んでいる方が、雨のたびに数百人の子供の行き帰りを見ながら、事故がなければと心配しております。大雨で今にも崖崩れがおきそうなところです。県の崖崩れの危険箇所の看板も立っています。何年か前にも台風の時に木惜神社の崖崩れがありました。市もこのようなことはご存知だと思いますけれども、本格的な工事が一切ありません。崖崩れがおきなければ、被害者が出なければ、どうも直してくれないのではないかとこの噂もあります。それでは遅すぎますので、是非対策をたてていただきたいと思います。市はどのようにお考えか伺います。

教育文化部長

通学路の件につきましては、道路関係となります。崖崩れにつきましては地権者の方と建設部門の方と相談していくなかで、何らかの手法があれば、その対策をという手立てしかありません。補助等がなければ地権者と市が協議するなかで負担をする

とか、そういったことのでき決めでしていただく他はないと思いますので、また建設部門の方とご相談をお願いします。私の方から、場所はわかっていますので、建設経済部門の方へはお伝えはしてあります。

下本所 男性

通学路の件に関して、今、建設課の方と話をしろという話がありましたが、我々としては、もう10年にもなると思います。我々も小学校のPTA、そっちからも陳情に行かんと無理かなと、そんな感じもしていますが、建設課、教育委員会とお互いになすりつけるでなくて、子供が何かあってはいけないよということを大前提に持って、行政の方で対処してもらいたいと思います。

青葉台 男性

先程、東名高速の前後に歩道を作ればと話をしたんですが、あその部分は東名高速のところに歩道を作れば解決するんじゃないかと思うんですけど。本当に東名高速のところに歩道が出来るのかとの話ですけど、現在の技術を持ってすれば、盛土の部分にトンネルを掘れば、簡単に出切るかと思います。ただお金はちょっと掛かかるとは思いますが、そのへんも東名高速と相談されたらどうかと思います。